

第10款 教育費

項1 教育総務費

目3 指導教育研究費

1 教育実践研究奨励等経費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	672	決算額	426
-----	-----	-----	-----

実践奨励校を指定し、教育振興及び教育内容等の充実を図った。

実践奨励校 小学校7校 中学校2校

事業内容 研究主題に基づく研究、成果の公開研究会、研究紀要作成等

2 教育指導研究奨励等経費

予算額	3,975	決算額	3,835
-----	-------	-----	-------

指導方法の工夫改善を図るため、教員用の指導図書・参考書等の購入のほか、小学校3・4年生の社会科副読本を作成配布した。

3 スクールカウンセラー活動経費

章	5	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	162	決算額	48
-----	-----	-----	----

小中学校におけるいじめや不登校等の対応について専門的な知識・経験を有する臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置した。

配置校(拠点校方式) 西陵中学校、緑陽中学校

相談件数	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
	226 件	299 件	182 件	124 件

4 心の教室相談員活動経費

章	5	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,815	決算額	1,736
-----	-------	-----	-------

生徒が悩み等を気軽に相談できる第三者を生徒の身近に配置した。

配置校 幌別中学校・鷺別中学校・登別中学校・緑陽中学校・西陵中学校

相談件数 89件 ※来室生徒数 2,249人

5 言語障害通級指導教室運営経費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	207	決算額	207
-----	-----	-----	-----

言語障害児教育の充実・伸展を図るため、ことばの教室を開設し指導環境を整えた。

運営内容 ・幼児部、小学部の入級判定

・保護者との教育相談 ・言語指導

通級児童数の推移	区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
	幼児部	39 人	58 人	48 人
	小学部	60 人	39 人	35 人
	計	99 人	97 人	83 人

6 不登校・いじめ等対策経費

章	5	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	239	決算額	218
-----	-----	-----	-----

不登校・いじめ等の対策を図るため、各事業を実施した。

主な事業内容

教育相談、いじめ相談電話	専門相談員2名	月～金 9:00～17:00
不登校・いじめ等対策会議	年2回	
教職員を対象とした研修会	年2回	
ふれあいサポート懇談会	年2回	
父母懇談会	毎月第2火曜日	
広報誌「手をつなぐ親と子」	年2回発行	

7 教育研究会運営事業補助金

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	720	決算額	720
-----	-----	-----	-----

学校教育の振興及び教職員の研修と資質向上を図るため補助した。

8 特別支援教育振興費

予算額	363	決算額	363
-----	-----	-----	-----

特別支援教育の振興を図るため、交流学習事業等に対し補助金を交付した。

9 小中学校情報教育推進事業費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	54,047	決算額	53,935
-----	--------	-----	--------

小中学校の情報教育の推進を図るため、年次的にパソコン等の情報通信機器の整備を図った。

小学校配置済パソコン台数	200 台	達成率	100 %
中学校配置済パソコン台数	205 台	達成率	100 %
教員用配置済パソコン台数	280 台	達成率	100 %

※授業に際し、小学校は2人1台、中学校は1人に1台の設置を目標としている。

10 自然体験学習推進経費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	972	決算額	530
-----	-----	-----	-----

児童生徒の自立心を養い、豊かな心を育むため、ネイチャーセンターふおれすと鉱山で自然体験学習を実施した。

11 特色ある学校づくり推進経費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	4,516	決算額	3,639
-----	-------	-----	-------

地域の特性を生かした創意ある活動に努め、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進した。

登別温泉入浴体験事業 参加対象児童 417名(小学校3年生)

総合的な学習活動研究推進事業

小学校 主に野外での体験学習

中学校 主に企業等での職場体験学習

生活科実施等経費

小学校(1・2年) 事業内容 動物の飼育・学校菜園等

12 学習状況調査研究経費	予算額	98	決算額	98
---------------	-----	----	-----	----

教育活動を支援するため、教職経験者等の地域の人材を活用した。

目4 交流教育推進費

1 外国青年招致経費

章	5	節	2	施策	2	予算額	4,493	決算額	4,361
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

生きた英語を指導する外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成などを図った。

事業内容

- 中学校での英語指導、市民対象の英会話教室
- 小学校での交流、地域住民等との交流

2 姉妹都市小中学校交流事業補助金

章	6	節	2	施策	1	予算額	299	決算額	228
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

姉妹都市提携を契機に、児童生徒の相互交流を図っている姉妹都市小中学校交流事業実行委員会へ補助し、小中学校交流事業を実施した。

目5 生涯学習推進費

1 子ども地域交流プラザ事業補助金

章	5	節	2	施策	3	予算額	1,000	決算額	1,000
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-------

ふれあい農園、巡視船体験乗船、地引網体験などの事業を実施する登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付した。

2 生涯学習推進経費

章	5	節	1	施策	1	予算額	220	決算額	52
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	----

生涯学習社会の実現に向け、社会教育施設において行事を開催するとともに、生涯学習情報紙によりこれら行事についてお知らせするなど、学習機会の拡充と提供を行った。

目6 教育財産管理費

1 教員住宅営繕費

管理戸数 85 戸 入居戸数 56 戸

予算額	1,000	決算額	990
-----	-------	-----	-----

2 教育財産管理委託料

章	5	節	1	施策	1	予算額	71,041	決算額	71,041
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

市民会館、鷺別公民館、総合体育館、陸上競技場の指定管理者への管理委託料

指定管理者 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団

利用者数	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
市民会館	88,110 人	90,309 人	87,712 人	94,891 人
鷺別公民館	42,807 人	42,073 人	39,531 人	40,118 人
総合体育館	61,724 人	64,258 人	66,295 人	69,185 人
陸上競技場	3,537 人	11,559 人	5,005 人	10,589 人

3 市民会館改修事業費

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	13,733	決算額	13,730
-----	--------	-----	--------

市民会館の暖房・給湯用ボイラーの取替えや非常用階段等の改修整備を行った。

事業内容 市民会館門扉修繕
市民会館非常用階段等修繕
市民会館温水ボイラー取替工事

予算額及び決算額の状況 (単位:千円)

区分	事業費	財 源 内 訳		
		市 債		一 般 財 源
		通常債	行革債	
当初予算額	14,500	9,700		4,800
決 算 額	13,730	9,100	3,100	1,530

4 教育施設水洗化事業費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	12,023	決算額	12,023
-----	--------	-----	--------

下水道の供用開始に伴い、教育施設の水洗化を実施した。

事業実施箇所 登別中学校
事業内容 浄化槽解体撤去、砂埋め戻し 1基
屋外排水塩化ビニル管布設工事
屋外排水塩化ビニル樹 31箇所設置

予算額及び決算額の状況 (単位:千円)

区分	事業費	財 源 内 訳		
		市 債		一 般 財 源
		通常債	行革債	
当初予算額	15,000	11,200		3,800
決 算 額	12,023	6,200	2,100	3,723

5 市民会館整備事業費

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	69,100	決算額	0
-----	--------	-----	---

市民会館外壁等の整備を行う。

事業内容 外壁、屋上の欠損部補修及び塗装
※事業が年度内に終了しないため、翌年度に繰り越した。
翌年度繰越額 69,100千円

目7 教育諸費

1 教職員健康診断等経費

予算額	2,479	決算額	2,419
-----	-------	-----	-------

小中学校の教職員を対象に、一般健診、血液検査、胃部健診等を実施し、教職員の健康保持及び増進を図った。

区 分	予算積算	実績	対象者数	受診率	備 考
一般健診	245人	210人	225人	93%	
聴力健診	245人	210人	225人	93%	
胸部X線	245人	206人	225人	91%	
血液検査	245人	209人	225人	92%	
心電図	165人	153人	165人	92%	35歳以上
胃部X線	105人	79人	85人	92%	40歳以上
人間ドック	42人	37人	42人	88%	希望者

2 児童生徒健康診断等経費

章	5	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	18,179	決算額	17,793
-----	--------	-----	--------

(1) 新入学児童健康診断等経費

学校保健安全法第11条の規定に基づき新入学児童の健康診断を実施し、児童の健康保持・増進を図った。

健診内容 脊柱・胸部の疾病及び異常の有無、視力及び聴力
 歯・口腔の疾病及び異常の有無、その他疾病及び異常の有無
 受診者数 400人

(2) 児童生徒健康診断等経費

学校保健安全法第13条の規定に基づき児童生徒の健康診断を実施し、児童生徒の健康保持・増進を図った。

診断内容 内科検診、結核検診(全員)、心臓検診(小1・中1)
 歯科検診(全員)、眼科耳鼻科検診(小1・中1)
 ぎょう虫卵検査(小1～3)、尿検査(全員)

3 学校給食事業特別会計繰出金

予算額	120,913	決算額	113,923
-----	---------	-----	---------

給食原材料、パン等加工委託料以外の経費を繰出対象として、給食収入以外の収入を控除して繰出額を決定し、一般会計から繰出しを行った。

なお、平成14年度より、給食収入未収金補てん額(現年分)についても繰出し対象としている。

4 私立高等学校教育振興補助金

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	4,233	決算額	4,233
-----	-------	-----	-------

入学金や備品購入費の一部を助成し、私学教育の振興を図った。

5 児童生徒通学補助費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

(1) スクールバス運行経費

予算額	13,215	決算額	13,199
-----	--------	-----	--------

徒歩通学が困難な区域に居住する児童生徒が通学するための送迎用のスクールバスを運行した。

(札内地区及び来馬町)

対象児童生徒 小学校 7人 中学校 4人

運行日数 245日

(登別温泉町及び上登別町・カルルス町、中登別町)

対象児童生徒 小学校 42人

運行日数 206日

(2) 児童生徒遠距離通学費補助金

予算額	3,492	決算額	3,106
-----	-------	-----	-------

交通機関を利用して通学する児童生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。

補助対象人員 小学校2校 18人 中学校3校 103人

項2 小学校費

主要データ

① 小学生数等の推移

区 分	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成12年
小学生数	2,603人	2,618人	2,686人	2,739人	2,969人
小学校数	8校	8校	9校	9校	9校
学級数	110学級	111学級	112学級	113学級	110学級
うち特別支援学級数	18学級	19学級	17学級	16学級	7学級

目1 学校管理費

- 1 文具教材実験実習等消耗品費
ボール等を購入。

予算額	15,306	決算額	14,849
-----	--------	-----	--------

- 2 図書購入費

予算額	3,840	決算額	3,809
-----	-------	-----	-------

平成20年度購入冊数	平成20年度末蔵書数
2,479冊	56,811冊

- 3 教材等備品購入費
マシン・楽器・とび箱等を購入。

予算額	5,012	決算額	5,011
-----	-------	-----	-------

- 4 小学校水泳授業経費
学校～市民プール間のバス借上にかかる経費。

予算額	2,100	決算額	2,016
-----	-------	-----	-------

- 5 行政区域外就学委託料
登別市美園町6丁目12番地以北に居住している児童について、室蘭市との協定により室蘭市立水元小学校への就学を認めている。
対象児童 8名

予算額	800	決算額	800
-----	-----	-----	-----

- 6 燃料費・光熱水費
- | | | | |
|------|---------|-----------|-------------|
| 燃料費 | ・灯油 | 192,538ℓ | 13,900,695円 |
| | ・プロパンガス | 285.6㎡ | 301,063円 |
| 光熱水費 | ・電灯料 | 769,685kw | 16,919,099円 |
| | ・上下水道料 | 26,828㎡ | 6,150,192円 |

予算額	40,237	決算額	37,272
-----	--------	-----	--------

- 7 特別活動推進経費
学校の実態や児童の発達段階などを考慮し、児童会活動等による自主的・実践的な活動を助長した。

予算額	240	決算額	239
-----	-----	-----	-----

- 8 特別支援教育推進経費
特別支援学級設置に伴い消耗品、備品等を整備した。

予算額	1,460	決算額	1,364
-----	-------	-----	-------

目2 施設管理費

1 小学校便所洋式化事業費

予算額	42,500	決算額	40,152
-----	--------	-----	--------

事業の概要 小学校の便所の大便器を和式から洋式に改修するとともに、車いす対応便所を設置し、衛生環境の改善を行った。

実施箇所 鷺別小学校、幌別東小学校、幌別西小学校、登別小学校、青葉小学校

① 予算額及び決算額の状況 (単位:千円)

区分	事業費	財源内訳		
		市債		一般財源
		通常債	行革債	
当初予算額	42,500	28,600		13,900
決算額	40,152	30,100	10,000	52

2 鷺別小学校暖房設備整備事業費

予算額	7,592	決算額	7,592
-----	-------	-----	-------

老朽化の著しい鷺別小学校校舎等のFFストーブ計21台を更新した。

① 予算額及び決算額の状況 (単位:千円)

区分	事業費	財源内訳		
		市債		一般財源
		通常債	行革債	
当初予算額	8,500	6,700		1,800
決算額	7,592	5,100	1,700	792

3 鷺別小学校周辺整備事業費

予算額	2,500	決算額	2,415
-----	-------	-----	-------

校舎周辺の通学路整備等を行い、教育環境の改善を行った。

4 小学校耐震化優先度調査経費

予算額	3,870	決算額	3,870
-----	-------	-----	-------

事業の概要 新耐震基準施行(昭和56年)以前の基準において設計・施行されている小学校の耐震診断を実施するにあたり、その優先度を判断するための基礎資料として、「耐震化優先度調査」を実施した。

実施箇所 幌別小学校、幌別西小学校、登別小学校、鷺別小学校、富岸小学校、青葉小学校
幌別東小学校

5 富岸小学校屋体整備事業費

章	5	節	2	施策	2	予算額	27,720	決算額	0
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	---

屋内体育館の窓及び屋根の老朽化が著しいため、改修を行う。

※事業が年度内に終了しないため、翌年度に繰り越した。

翌年度繰越額 27,720千円

目3 教育振興費

1 小学校教育振興経費

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費

章	5	節	2	施策	—	予算額	34,751	決算額	33,060
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学に必要な費用を援助した。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
対象児童数	540 人	549 人	551 人	578 人
決算額	33,060 千円	32,658 千円	32,294 千円	32,851 千円

(2) 特別支援教育就学奨励費

章	5	節	2	施策	2	予算額	1,221	決算額	836
---	---	---	---	----	---	-----	-------	-----	-----

特別支援学級に就学している児童の保護者に対して経済的な負担を軽減するため、必要な費用を援助した。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
対象児童数	32 人	30 人	32 人	33 人
決算額	836 千円	795 千円	750 千円	712 千円

項3 中学校費

主要データ

① 中学生数等の推移

区分	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成12年
中学生数	1,372 人	1,397 人	1,396 人	1,373 人	1,672 人
中学校数	5 校	5 校	5 校	5 校	6 校
学級数	51 学級	51 学級	52 学級	47 学級	57 学級
うち特別支援学級数	10 学級	9 学級	7 学級	6 学級	4 学級

目1 学校管理費

1 文具教材実験実習等消耗品費

予算額	11,061	決算額	9,362
-----	--------	-----	-------

ボール等を購入。

2 図書購入費

予算額	3,750	決算額	3,482
-----	-------	-----	-------

平成20年度購入冊数	平成20年度末蔵書数
2,835冊	37,071冊

3 教材等備品購入費

予算額	4,400	決算額	4,283
-----	-------	-----	-------

教材DVD・マット等を購入。

4	行政区域外就学委託料	予算額	411	決算額	411
---	------------	-----	-----	-----	-----

登別市美園町6丁目12番地以北に居住している生徒について、室蘭市との協定により
室蘭市立東明中学校への就学を認めている。
対象生徒 3名

5	燃料費・光熱水費	予算額	30,801	決算額	27,694
---	----------	-----	--------	-----	--------

燃 料 費 ・灯油	148,088ℓ	10,666,849円
・プロパンガス	236.5m ³	270,618円
光熱水費 ・電灯料	544,413kw	12,206,475円
・上下水道料	19,826m ³	4,549,062円

6	特別活動推進経費	予算額	2,650	決算額	2,412
---	----------	-----	-------	-----	-------

学校の実態や生徒の発達段階などを考慮し、生徒会活動・部活動による自主的・実践的な活動を助長した。

7	特別支援教育推進経費	予算額	1,165	決算額	1,124
---	------------	-----	-------	-----	-------

特別支援学級設置に伴い消耗品、備品等を整備した。

8	中学校体育連盟助成金	予算額	1,460	決算額	1,460
---	------------	-----	-------	-----	-------

体育の振興とスポーツを通しての中学校間の交流・親睦を深めるため、中学校体育連盟に助成した。

目2 施設管理費

1	中学校耐震化優先度調査経費	予算額	3,166	決算額	3,166
---	---------------	-----	-------	-----	-------

事業の概要 新耐震基準施行(昭和56年)以前の基準において設計・施行されている中学校の耐震診断を実施するにあたり、その優先度を判断するための基礎資料として、「耐震化優先度調査」を実施した。

実施箇所 幌別中学校、鷺別中学校、登別中学校、西陵中学校

目3 教育振興費

1 中学校教育振興経費

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費

章	5	節	2	施策	—	予算額	34,783	決算額	32,183
---	---	---	---	----	---	-----	--------	-----	--------

経済的な理由によって、就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を援助した。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
対象生徒数	337 人	331 人	322 人	268 人
決 算 額	32,183 千円	30,522 千円	30,521 千円	27,146 千円

(2) 特別支援教育就学奨励費

章	5	節	2	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	1,046	決算額	337
-----	-------	-----	-----

特別支援学級に就学している生徒の保護者に対して経済的な負担を軽減するため、必要な費用を援助した。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
対象生徒数	6人	4人	6人	9人
決算額	337千円	181千円	313千円	514千円

項4 社会教育費

目1 社会教育総務費

1 市民生涯学習推進講座経費

章	5	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

生涯学習を推進するため、高齢者や婦人を対象とした学習機会の提供や、各幼稚園、小学校を拠点にした学習、市内団体・サークルを対象とした自主的な学習会の支援を行った。

(1) ときめき大学経費

予算額	1,828	決算額	1,412
-----	-------	-----	-------

登別市ときめき大学

教養コース

8講座 延1,337人(学生数292人)

内容 講演3回、世代間交流、芸術鑑賞

選択コース

希望者のみ婦人短期大学の選択コースを受講できる。延191人

専修コース

6グループ 構成員120人

内容 新聞、ハーモニカ、すこやかレクリエーション、郷土史、せんべい焼き、フラダンス

※ 平成19年度より受益者負担(1,000円)を徴収することとした。

(2) 婦人短期大学経費

予算額	595	決算額	571
-----	-----	-----	-----

登別市婦人短期大学

23講座 延1,087人(学生数158人)

教養コース 8回

選択コース 暮らしの賢者コース5回、のぼりべつ物知りコース5回、はつらつ元気コース5回

※ 平成19年度より受益者負担(1,000円)を徴収することとした。

(3) 家庭教育学級経費

予算額	407	決算額	225
-----	-----	-----	-----

47講座 延1,417人(12学級)

内容 子育て、家庭のあり方、子ども理解、全体学習会、作品展

(4) 市民マイプラン講座経費

予算額	150	決算額	115
-----	-----	-----	-----

23講座 参加者数 447人

内容 調理実習、英会話、絵本読み聞かせ等

2 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金

予算額	11,351	決算額	10,786
-----	--------	-----	--------

登別市の文化・スポーツの振興を図るため、(財)登別市文化・スポーツ振興財団の管理運営経費に対し助成した。

事務局管理経費 事務局人件費、役員報酬、消耗品、車両リース等

3 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金

予算額	4,286	決算額	3,290
-----	-------	-----	-------

登別市の文化・スポーツの振興を図るため、(財)登別市文化・スポーツ振興財団の文化・スポーツ振興事業に対し助成した。

○文化振興事業	文化教室開催事業	7事業(ヨガ教室等)
	芸術鑑賞事業	2事業(道新ジュニアクラシック等)
	共催事業	3事業(市民文化祭等)
○スポーツ振興事業	スポーツ教室開催事業	12事業(初心者テニス教室等)
	スポーツ大会開催事業	3事業(市民キンボール大会等)
	共催事業	2事業(市民ゲートボール大会等)

4 PTA連合会助成金

章	5	節	2	施策	2	予算額	300	決算額	300
---	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----

子どもたちのたくましく豊かな成長を願って活動するPTA連合会に助成した。

事業内容 教育委員会との懇話会、研究大会、母親研修会、広報紙の発行

目2 婦人研修施設費

章	5	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 婦人研修の家整備委託料

予算額	3,570	決算額	3,485
-----	-------	-----	-------

老朽化等により床面や外壁などの整備が必要な婦人研修の家について、町内会等に委託し整備した。

整備件数 2件

目4 図書館費

章	5	節	1	施策	1
---	---	---	---	----	---

主要データ

① 購入図書冊数等の推移

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
購入図書冊数	7,589	6,977	6,065
蔵書冊数	147,269	142,339	138,050
貸出登録者数	16,491	16,813	15,552
貸出冊数	219,662	198,843	213,040
本館	145,080	131,014	144,712
移動図書館車	28,864	26,937	26,939
鷺別配本所	27,750	25,287	24,346
登別配本所	3,042	2,424	3,290
登別温泉配本所	1,381	1,107	1,337
地域情報センター	1,495	2,392	3,115
団体貸出	12,050	9,682	9,301
相互貸借冊数	3,189	3,073	3,489
市民1人当貸出冊数	2.80	2.69	3.98

1 図書購入費

予算額	11,152	決算額	11,152
-----	--------	-----	--------

2 雑誌・新聞等購入費

予算額	846	決算額	846
-----	-----	-----	-----

3 移動図書館車運行業務委託料

予算額	2,966	決算額	2,966
-----	-------	-----	-------

平成18年度から、移動図書館車の運行業務を民間委託し、巡回サービスの向上を図った。

4 図書館システム更新経費	予算額	4,912	決算額	4,912
図書館システム機器等が耐用年数を経過したため更新した。(図書館運営管理経費に含む)				

5 図書館便所洋式化事業費	予算額	2,100	決算額	1,911
一階トイレを車椅子利用者等にも対応できる洋式便器に改修した。(男女別に各1基)				

目5 青少年対策費

章	5	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

主要データ	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
	補導件数	405 件	692 件	880 件

1 成人祭経費	予算額	546	決算額	483
開催日	平成21年1月11日			
場所	登別マリンパーク ニクス(イルカショープール)			
参加者数	417人			

2 少年の主張大会経費	予算額	47	決算額	23
少年が日常生活の中で体験したことや日ごろから考えていることなどを広く発表することにより、広く市民からの理解を求めるとともに、同世代の少年の意識高揚を図った。				
開催日	平成20年6月5日			
場所	緑陽中学校			
発表者数	12人(各中学校2人)			

3 子ども会活動振興助成金	予算額	830	決算額	830
登別市子ども会育成連絡協議会(43団体:7地区)の事業を助成することにより、青少年の健全育成を図った。				
事業内容	こいのぼりマラソン大会、かるた大会、リーダー研修会 広報「登子連」配布など			

4 放課後子ども教室推進事業費	予算額	5,713	決算額	5,555
子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て様々な体験活動や交流活動などの取り組みを推進した。				
事業内容	鷺別地区放課後子ども教室整備工事 鷺別地区放課後子ども教室用備品購入 鷺別地区放課後子ども教室運営管理委託料			

	平成20年度
利用者数(延べ)	2,547 人

目6 郷土資料館費

章	5	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

1 郷土資料館運営管理経費	予算額	2,310	決算額	1,950
---------------	-----	-------	-----	-------

	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
--	--------	--------	--------	--------

入館者数	2,882 人	3,163 人	3,540 人	2,769 人
------	---------	---------	---------	---------

目7 文化振興費

1 三市合同文化事業負担金

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,000	決算額	1,000
-----	-------	-----	-------

登別・室蘭・伊達三市により文化事業を効果的に展開し、地域文化の向上と文化ネットワークの形成を図った。

開催日 平成20年6月4日 開催場所 室蘭市文化センター

入場者数 630人

内 容 演劇「富良野GROUP室蘭市公演2008夏『ニングル』」

2 中学校音楽祭経費

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	270	決算額	222
-----	-----	-----	-----

市内の中学校の教師により構成された実行委員会が主体となり、音楽祭を開催した。

開催日 10月8日 参加校 5校

3 文化伝承館運営管理経費

章	5	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	376	決算額	355
-----	-----	-----	-----

郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習等を実施した。

入館者数 2,882人

4 文化振興助成金

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	800	決算額	800
-----	-----	-----	-----

地域に根ざした個性豊かな文化を育むため、登別市文化協会に助成金を交付し、文化協会及び各文化団体の自主的な文化活動の支援に努めた。

登別市文化協会加盟状況 36団体 約2,100人

5 児童生徒文化振興助成金

章	5	節	3	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	500	決算額	387
-----	-----	-----	-----

市内の小中学校、高校に在学する児童生徒の文化活動を支援し、全道・全国大会に出場する際の経費の一部を助成した。

助成団体 全国:該当なし

全道:緑陽中学校(吹奏楽)、幌別中学校(吹奏楽:2回)

登別大谷高等学校(書道)、登別青嶺高等学校(吹奏楽)

助成件数 5件 129人(北海道大会)

6 のぼりべつ文化交流館運営管理経費

章	5	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	3,723	決算額	3,137
-----	-------	-----	-------

市民の郷土の歴史に対する理解を深めるため、埋蔵文化財に関する展示や説明、体験学習等を実施した。また、文化団体による絵画等の展示を行い、文化活動の向上を図った。

来館者数 2,744人(展示1,322人・貸館1,422人)

事業内容 体験学習(まが玉をつくろう!!、縄文土器をつくろう!!、登別縄文ときどきまつりなど7事業)
展示(埋蔵文化財の展示、文化団体による絵画・野鳥展など)

目8 自然体験学習施設費

章	2	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 ネイチャーセンター運営管理経費

ネイチャーセンター来館者の推移

	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
来館者数	24,339 人	27,424 人	19,728 人	18,551 人

(1) 運営管理経費

予算額	3,157	決算額	2,428
-----	-------	-----	-------

(2) 業務運営委託料

予算額	35,670	決算額	35,670
-----	--------	-----	--------

平成19年度からNPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶが指定管理者として運営管理を行っている。

(主な事業)

- ・こうざんながぐつレンジャー(参加者 302人) ・もりのようちえん(参加者 923人)
- ・指導者養成講座(参加者 105人) ・GWスペシャルウィーク(参加者 458人)
- ・夏休みスペシャルウィーク(参加者 370人) ・冬休みスペシャルウィーク(参加者 425人)
- ・冬まつり(参加者 188人)

項5 保健体育費

目1 保健体育総務費

1 体育指導委員会経費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	688	決算額	413
-----	-----	-----	-----

スポーツ団体に対する指導や大会開催に対する支援のほか、体育指導委員を研修会等に参加させる等、資質の向上に努めた。

体育振興事業 市内スポーツ団体への指導

登別市体育指導委員会 委員数15人

- 事業内容
- ・家庭教育学級への指導者派遣
 - ・各種研修会への参加 等

2 学校開放事業費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	4,588	決算額	3,799
-----	-------	-----	-------

スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図るため、小中学校の体育館を開放した。

屋内体育館

開放校	10校
開放期間	平成20年4月10日～平成21年3月6日(土・日曜日、祝日等を除く)
利用団体	延 2,084団体
利用者数	延28,633人

3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	434	決算額	281
-----	-----	-----	-----

登別温泉開湯150年記念事業として、全国ラジオ体操会(夏季巡回公開放送)を行った。

開催日	平成20年7月29日(火)
会場	幌別小学校体育館
参加者数	450名(バス対応)

4 三市スポーツ大会事業費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	232	決算額	190
-----	-----	-----	-----

スポーツ活動を通じて技術の向上及び登別・室蘭・伊達三市の児童生徒の交流を図った。

陸上競技大会(夏季)

開催日	平成20年8月9日	場所	室蘭市入江陸上競技場
参加者数	登別市 88人		

5 体育協会助成金

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	800	決算額	800
-----	-----	-----	-----

市内におけるスポーツの底辺拡充と競技力の向上のため、登別市体育協会に助成金を交付した。

加盟団体	21団体 4,383名
事業内容	・加盟団体事業への支援 ・指導者の育成強化 ・表彰 ・胆振管内スポーツフェスタへの参加 ・スポーツ交流の促進 ・賛助会員の登録促進 ・関係団体事業の協賛 等

6 スポーツ少年団育成助成金

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	500	決算額	500
-----	-----	-----	-----

青少年の心とからだの健全育成、仲間との連帯感を養うため、登別市スポーツ少年団本部に助成し、加盟団体の育成を図った。

加盟団体	22団体 364人
事業内容	・スポーツ少年団育成 ・リーダー養成 ・地域交流 ・競技別交流会の参加 ・単位団体事業助成 ・姉妹都市との交流推進 等

7 児童生徒スポーツ振興助成金

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	2,400	決算額	1,810
-----	-------	-----	-------

市内の小・中・高校に在籍する児童・生徒及び市内に住所を有するスポーツ団体を対象に全道及び全国大会に参加する経費の一部を助成した。

助成件数 全国大会 3件 5人 北海道大会 64件 572人

8 姉妹都市スポーツ交流事業助成金

章	6	節	2	施策	1
---	---	---	---	----	---

予算額	1,183	決算額	1,183
-----	-------	-----	-------

青少年の健全育成とスポーツ振興を図るため、姉妹都市とスポーツ交流を図った。

事業内容

野球交流

開催日 7月26日・27日 場所 宮城県白石市

参加者 登別市 36人(選手24人、役員12人)

「姉妹都市親善水泳大会2008」

開催日 9月13日～15日 場所 スパッシュランドしろいし(宮城県白石市)

参加者 交流団 22人(選手16人、役員6人)

目2 体育施設費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 岡志別の森運動公園等運営管理経費

予算額	11,787	決算額	11,639
-----	--------	-----	--------

平成18年度から北海道曹達(株)幌別工場を指定管理者とし、運営管理を行っている。

指定管理者委託料 9,900千円(川上公園Bゾーンの管理委託含む)

敷地借上料 1,739千円

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
利用者数	34,570人	37,937人	34,318人	37,822人
野球場	3,725人	5,551人	3,859人	4,540人
テニスコート	8,134人	8,099人	8,278人	7,742人
パークゴルフ	22,711人	24,287人	22,181人	25,540人

2 陸上競技場整備事業費

予算額	1,634	決算額	1,623
-----	-------	-----	-------

グラウンド内の整備を行った。

目3 青少年会館費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 青少年会館運営管理経費

予算額	20,528	決算額	19,359
-----	--------	-----	--------

青少年会館(市内4か所)を、市民のスポーツの地区拠点として活用を図った。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
利用者数	54,137人	52,549人	53,768人	53,121人

目4 市民プール費

章	5	節	4	施策	1
---	---	---	---	----	---

1 市民プール運営管理経費

予算額	49,355	決算額	47,961
-----	--------	-----	--------

市民の幅広いニーズに対応して、公認競技用プールとしての機能、アクアスポーツを普及するための機能及び水の効能を生かした健康増進機能を確保することにより、市民の健康増進と余暇の充実を図った。なお、平成18年度から(財)登別市文化・スポーツ振興財団を指定管理者とし、運営管理を行っている。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
利用者数	118,850 人	114,219 人	117,792 人	118,726 人

2 市民プールバスパック業務委託料

予算額	53	決算額	22
-----	----	-----	----

登別地区、温泉地区、鷺別地区等遠方の利用者増を図るため、バス会社と協議の上入館料とバス料金を組み合わせたバスパックを実施した。

バスパック販売枚数 144枚